

川崎市総合計画有識者会議第3回ラウンドテーブル
都市構造と交通体系

2015年3月13日 大西隆

1 市を取り巻く交通体系

○縦断方向の交通体系

○横断方向の交通体系

道路、鉄道ともに、横断方向が強く、縦断方向が弱い

多くに市民は、東京のターミナル・横浜を含めた生活圏を持つ

縦断方向は、川崎駅周辺開発などの進展とともに、結びつきが強まってきた

○南武線、大師線強化

新たな要素

○羽田再国際化 羽田との結びつき強化

○リニア新幹線 品川・相模原との結びつき

○川崎内の拠点強化（武蔵小杉駅周辺、川崎駅周辺）

2 市内各所の交通の課題

○近隣生活圏における交通の利便性、安全性向上

○最寄り拠点駅に向けた、バス、自転車ネットワーク

⇒利便性と安全性

○高齢者増加とともに、比較的限定された近隣生活圏での閉じた生活パターンが増加

○駅周辺に諸施設を集約し、メリハリの利いたまちづくり

3 その他の課題

○安全性向上 連続立体、ホームドア、自転車専用道・専用レーン

○低炭素化 ハイブリッド・電気自動車、燃料電池車に向け、インフラ整備、技術革新

○快適・利便性 ニーズに応じた交通

○持続性・低コスト化 輸送需要に応じた最適な交通手段。

○バリアフリー化 乗降客のためのバリアフリー

○交通の専門家育成、事業者との密接な連携